

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 580304	郷土芸能保存活動支援事業				主管課名	教育行政課												
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし				課長名	野々山 照夫												
		施策	文化・芸術に親しみ、育むまち																	
		基本事業	文化財の保存と活用																	
(1)事業の概要																				
郷土芸能を保存する団体と協働して、郷土芸能を後世に伝承するため、当該団体の活動を支援する。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)														
						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>事業実施団体の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名 称	単 位	事業実施団体の数	団体					その指標	
名 称	単 位																			
事業実施団体の数	団体																			
その指標																				
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		郷土芸能保存団体が行う郷土芸能の保存活動経費の一部を補助する旨を通知する。補助金交付申請書を受理し、内容審査したのちに補助金交付決定を通知する。事業完了後、実績報告書を受理し、内容審査したのちに補助金を交付する。																		
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容																		
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)														
郷土芸能(囃子、棒の手) 郷土芸能保存団体						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>郷土芸能の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>郷土保存団体の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名 称	単 位	郷土芸能の件数	件	郷土保存団体の数	団体			その指標	
						名 称	単 位													
						郷土芸能の件数	件													
郷土保存団体の数	団体																			
その指標																				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)														
郷土芸能が着実に保存され後世に伝承される。 郷土芸能の保存(伝承)のためには保存団体の協力が不可欠であり、その保存活動を継続してもらう。						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>保存(伝承)されている郷土芸能の件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>保存活動を継続する郷土芸能保存団体の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名 称	単 位	保存(伝承)されている郷土芸能の件数	件	保存活動を継続する郷土芸能保存団体の数	団体			その指標	
						名 称	単 位													
						保存(伝承)されている郷土芸能の件数	件													
保存活動を継続する郷土芸能保存団体の数	団体																			
その指標																				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)														
伝統文化を保護保存し次代に継承する。						<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>					名 称	単 位	伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合	%	伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合	%			その指標	
						名 称	単 位													
						伝統文化の保存と継承が重要であると答えた人の割合	%													
伝統文化の保存と継承に満足と答えた人の割合	%																			
その指標																				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標																				
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値												
(5)の活動指標		団体	8	8	8	8	8	8												
(6)の対象指標		件	2	2	2	2	2	2												
		団体	8	8	8	8	8	8												
(7)の成果指標		件	2	2	2	2	2	2												
		団体	8	8	8	8	8	8												
(8)の結果の成果指標		%	74	74	74	74	74	74												
		%	50	50	50	50	50	50												
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	05	目	06								
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値												
事業費(決算又は予算額)		単位	655	655	640	640	640	640												
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0												
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0												
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0												
	その他	千円	0	0	0	0	0	0												
	一般財源	千円	655	655	640	640	640	640												
人件費B		千円	1,660	1,691	1,691	1,691	1,691	0												
正職員従事時間×人数		時間×人	225 × 2	225 × 2	225 × 2	225 × 2	225 × 2	×												
正職員以外の人件費		千円																		
その他費用C		千円	640	640	640	640	640													
トータルコストA+B+C		千円	2,955	2,986	2,971	2,971	2,971	640												
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/ 件	1,478	1,493	1,486	1,486	1,486	320												
		千円/ 団体	369	373	371	371	371	80												
		千円/																		

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 580304 郷土芸能保存活動支援事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和56年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？ 道具類の修繕又は更新などに要する経費が増加しており、保存伝承団体からは支援策の拡大が求められている。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 昭和56年10月に市内の山車を市指定有形文化財に指定し、併せて祭囃子などの郷土芸能の伝承活動を活性化するために開始した。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化し 保存団体の構成員の多様化により、指導者等 変化している 内容の後継者の育成に関心が高まっている。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 文化財保護法(第3条)みよし市文化財保護条例(第24条)他 この事務を行う根拠又は理由 郷土芸能の保存団体の協力のもとに保存し後世に伝え残すための支援は、市の事務事業である。	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 できない → 縮小	内容	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 できない → 拡充 絞込み	内容	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない	理由又は内容	保存団体の指導者等の熱意に支えられたこの取組が継続されることが、文化財の保存と活用につながるものである。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 ない → 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 ない → 検討が必要 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
		保存団体の指導者等の熱意に支えられたこの取り組みが継続されることが、文化財の保存と活用につながるものであり、現状の水準を維持する。					